

会期：9月26日(日) 午前9時～午後3時

会場：金田小学校 校庭

(注) 平塚市では毎年秋、市民の「体育レクリエーション大会」が小学校地区単位で実施されています。寺田縄地域は、金田小学校単位に属し、飯島・入野・長持・長瀬・寺田縄の5自治会を構成とする金田地区に位置しています。この5自治会が小学校校庭を舞台に個人競技・対抗競技などで競い合います。



■ 校庭にトラックが設けられ、自治会ごとに割り振られた場所にテントを張り、競技を行います。

テントには敷物、テーブルが持ち込まれ、競技を観戦したり、休憩したり、会話を楽しんだり、地域交換の場となります。

寺田縄にはテント二張り、今日の決戦の陣地ができました。

自治会役員を中心に開会前の作業でした。

■ 準備運動、玉入れが終わると「ウルトラクイズ」という、対抗種目が開始されます。

選手は各自治会から男女30名。主催者の出すクイズに○、×で答えます。

校庭の中央のロープを境に○、×の陣が張られ、問題に合わせ、身をもって陣取りをします。

問、平塚の友好都市は・・・等の出題、

得点は、各自治会の勝ち残りの人数で決まります。





■ 対抗競技「綱引き」

男女15名の30人で引き合います。

対戦は2勝0敗を重ね負けなしで、勝ち進み決勝戦に臨みました。

相手はオレンジ色の自治会です。同じく勝ち進んできた強敵です。

選手の覇気は相当なものでした。

相手に引かれそうなこともありましたが、巻き返し、なんと2勝を以て完全優勝でした。

両手、ひざ、腰の痛みもどこへやら・・・

◆ 対抗競技ではないのですが、小学生による模範綱引きです。

全身の力で、思い切り綱を引きました。力感あふれる子どもたちでした。



■ 対抗競技「みんなでジャンプ」

◆ 子どもは、三人三組で競います。時間内に飛んだ回数の合計で争います。気持ちいを合わせねばなりません。

最高記録は67回。大きな得点になりました。





◆ 大人の競技は15人。
廻す輪の中に入り込めば得点が増えます。

たかが縄跳び、されど縄跳びです。終了とともに、息は切れ切れ、前身の疲労がこたえています。

ここまでの得点は、綱引き、ジャンプが第一位で5点ずつの合計13点他の自治会を圧倒していました。



■ 小学生による「玉入れ」

平塚の小中学校は、2学期制です。運動会は春の行事となっています。

澄み渡る青空のもと、力いっぱい玉を投げました。

子供たちは元気そのもの。元気にあふれ、まぶしくも映りました。





■ 午後の対抗競技は
まず「背中でキャッチ」

背負ったザルにバウンドさせたボールを入れ、コーンを回り、リレーでつなぎます。選手は男女 10 名ずつ。

午前の得点に加え、優勝するにはこの種目「背中でキャッチ」と「百足リレー」の二種目にかかっています。



いざ勝負前、寺田縄陣地のテント裏では、選手たちの真剣な練習が続きました。コツがありそうですが、会得が難しそうです。少々慣れた所で本番を迎えます。



競技の結果は、掲示板の通り、他の自治会に追い抜かれてしまいました。

しかし、負けまいとして、皆でコツを教え合い、交流を深めたことは、勝敗にかかわらず大きな成果・収穫でした。

優勝への戦いは次の「ムカデ競争」に期待がかけられました。

逆転は射程内かな ?



■ 「百足リレー」

中学生以上の男女各 14 名で競います。男子の部は寺田縄が2位、女子の部は1位、9ポイント獲得でした、が、「背中でキャッチ」の得点が・・・惜しまれました。

総合順位は、準優勝。第二位でした。皆さん本当にお疲れ様でした。



閉会式に先立ち「大玉送り」で今日の「金田地区レクリエーション大会」は終了です。

写真のように、小学生を交えた大玉を送りあう姿は、金田地区の活動を象徴しています。

楽しく、明るい地区活動を進めていきたいですね。

寺田縄地区は、閉会式で準優勝の表彰を受けました。

よく頑張りました。寺田縄万歳です。

